

亥年の仇討ち

「週末寸言」原稿 070512

「やあ珍しや、そちは岩淵
 伝内。何を隠そう、拙者はあ
 の折乳飲み子たりし惣右衛門
 が一子の惣之助。これに控え
 したのは姉のアヤ。汝に巡り会
 んその姉のため我ら姉、ガマ
 の膏薬売りに身を落とす尋ね
 尋ねて20年。この会で優曇
 が百年目、盲亀の浮木、優曇
 華の花、待ち得たる今日だ
 いま、いざ神妙に勝負！勝
 負！姉者人、妙に勝負！勝
 こに遂げん！油断召さるな
 ツ！」
 ご存知、敵討ちの名セリフ
 だ。念のため、「盲亀の浮木」、
 「優曇華の花」とは実に發生
 確率の少ない事だ。たとえ、
 前者は目の見えな亀が百年
 に一度海上に上がってくる穴
 の開いた流木に頭を入るほ
 ど難しいこと、後者は三千年
 に一度しか咲かないと、これ
 とて、辞書には書いてある。映
 画や芝居に頻々と登場する敵
 討ちだが、かくの如く、敵討ち
 が敵に巡り会ったのは、文字通
 り優曇華の花の開花にも似て
 大変だ。たらのし。花にも似て
 え、わが国の有名な敵討ちと
 兄弟（1193年）、「鍵屋の
 辻（1634年）」、そして国
 民的復讐劇「忠臣蔵（170
 2年）」などがある。どれもこ
 れも敵討ちをする方が勝利し、
 また世間も大いにそれに快哉

を叫ぶのだが、そういう風に
 うまくいかぬ。たつた敵討ち
 有つた。世の人々の趣味は、
 なかなか世のため、歴史の藻
 消えてしまった。たの歴史は
 ろうか。またたの歴史は、
 た敵討ち。持つた。然るま
 な敵意を復讐の連鎖を呼ぶ。
 とそれゆえに、江戸時代は、
 と仇討ちの禁止は、許されな
 なつた。敵討ちは、許されな
 右衛門や赤穂浪士の仇討ちが賞
 讃された。これに、武士道
 礼賛された。これに、武士道
 誉められた。これに、武士道
 そう言え。江戸っ子の期待に
 反して、赤穂浪士は全員死刑だ
 っ。敵討ち禁止令（1873年）
 が発布された。復讐は法律違反
 と。この春は、12年に一度の亥
 年。この春は、12年に一度の亥
 は、「天誅」だ。刺客だ。
 と物騒な言葉が、勝ち組だ。
 終わる。負け組への敵討ち人
 よる。不平不満が頻々と聞こ
 事の不平不満が頻々と聞こ
 てくる。地方公務員とつて
 は定期的。地方公務員とつて
 が無いた。これには「敵討ち禁止令」
 ら抜けた。これには「敵討ち禁止令」
 た。冒頭の芝居は、人集めの
 た。馬場の芝居は、人集めの
 に。馬場の芝居は、人集めの
 う。鼻くそ。と。言。わ。れ。な。い。よ
 知恵も必要。より。過。ご。す。落。語。の